

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	柳原剛司
職 位	グローバル COE 短時間研究員
<p>研究概要</p> <p>今年度は、昨年度提出した博士論文の補完という位置づけで「年金制度を中心とする社会政策・社会保障の諸制度の変容とそれらの制度のもとで生活する人々の経済生活の変化とを分析し、制度改革をより包括的に捉え、その性質・課題を明らかにする」研究を行い、2010 年 10 月に中間報告的な位置づけの学会報告を行い、それを研究論文としてまとめるということを目的としていた。</p> <p>同テーマの研究の実施にあたって、2010 年夏に 2 か月間、「京都エラスムス計画：持続的社会発展に向けた次世代アジア共同研究リーダー育成」（大航海プログラム）を利用し、ハンガリー科学アカデミー経済学研究所へ滞在し、資料収集や派遣研究機関内外のハンガリーの社会保障・経済学研究者、国家人材省の社会保障政策担当者などとの意見交換を実施した。これらは、同テーマの研究の基盤となるとともに、人脈形成や問題意識の深化につながった。また、2010 年 8 月末には書評（業績リスト参照）を脱稿した。</p> <p>これらの意見交換の結果・ならびに入手した家計調査のデータを活用しつつ、とくに高齢者の所得保障の状況と近年の年金制度改革の関係に着目して研究に着手し、その中間報告の形で、予定通り 10 月中旬に比較経済体制学会の秋期大会において学会報告を行った。一般的には「相対的にも保護された社会集団」である高齢者世代においても年金制度およびそのほか社会政策による支援が十分でない年齢・社会集団もあること、またそれを踏まえた場合の近年の年金制度改革が内包する、高齢者への妥当な給付・所得保障を脅かす要素の存在・問題点などにつき明らかにした。</p> <p>学会報告以降については、翻訳（業績リスト参照）を実施する傍ら、京都大学の総長裁量経費による博士論文の出版助成を受けることが 11 月に決まり、博士論文の加筆修正に注力した。学会報告を研究論文に高める作業は後回しにせざるをえなかったが、同著書は無事 2011 年 6 月頃に出版の見込みとなった。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>1) 報告</p> <p>柳原剛司「ハンガリーの年金制度改革と高齢者の所得保障問題」比較経済体制学会第 9 回秋期大会、2010 年 10 月 16 日、上智大学</p> <p>柳原剛司「ハンガリーの社会保障制度と年金制度改革」社会労働研究会、2010 年 4 月 24 日、大阪ガーデンパレス</p> <p>2) その他</p> <p>柳原剛司「書評：盛田常夫著『ポスト社会主義の政治経済学』」『比較経済研究』第 48 号第 1 号、比較経済体制学会、2011 年 1 月、67-70 ページ。</p> <p>柳原剛司「翻訳：サニ・ミクローシュ他著「ハンガリーにおける産業クラスターの発生と発展」」『比較経済体制研究』第 17 号、比較経済体制研究会、2011 年 3 月、32-58 ページ。</p>	